

統計行政を取り巻く環境等

◆ 統計調査環境の変化

- ✓ 企業等の協力意識の変化
- ✓ 統計調査員の確保が困難化

◆ 厳しい財政事情

求められる対策

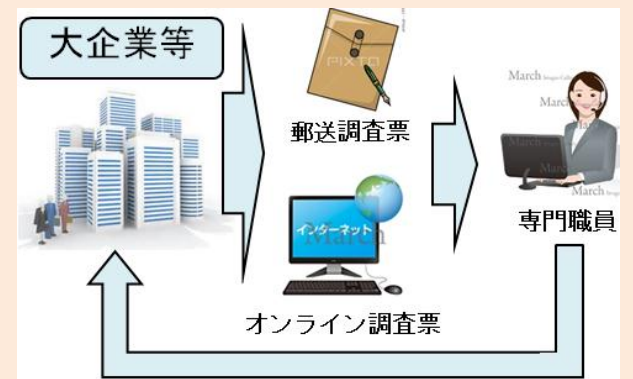
- ◆ 企業等の負担軽減
- ◆ 業務の平準化・高度化

母集団情報整備のための経済センサス-活動調査中間年における統計調査の在り方

事業所及び企業の**基本的構造の把握**

◆ 企業等の最新の売上高、従業者数等を把握

- 専門職員による直接照会等により、中核的な情報をよりタイムリーに収集
- 決算期などの実態を勘案し、企業等の負担を軽減



各種統計調査のための**母集団情報の整備**

◆ 事業所の活動状態を漏れなく把握

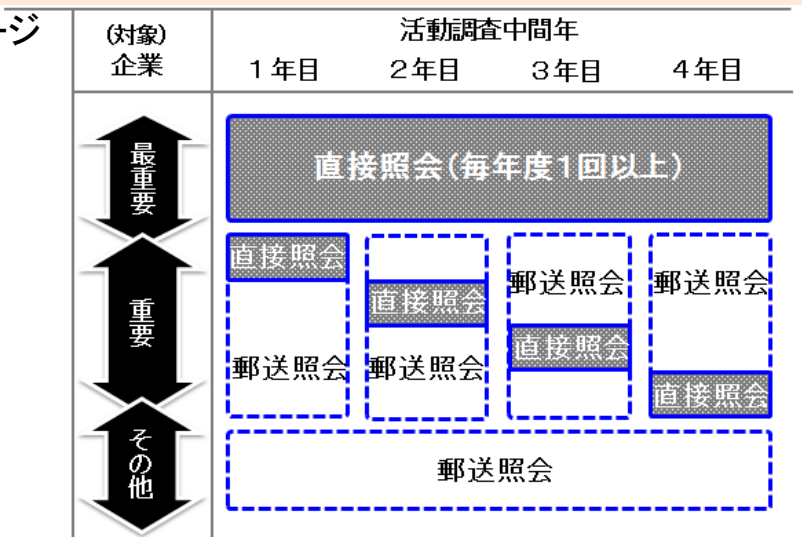
- 調査員が活動状態（廃業、新設等）を外観から効率的に確認
- 調査区を順次調査していくローリング方式により、業務を平準化



事業所母集団情報の新たな整備方法イメージ（案）

専門職員の直接照会による企業等の売上高、従業者数等の把握

※ イメージ

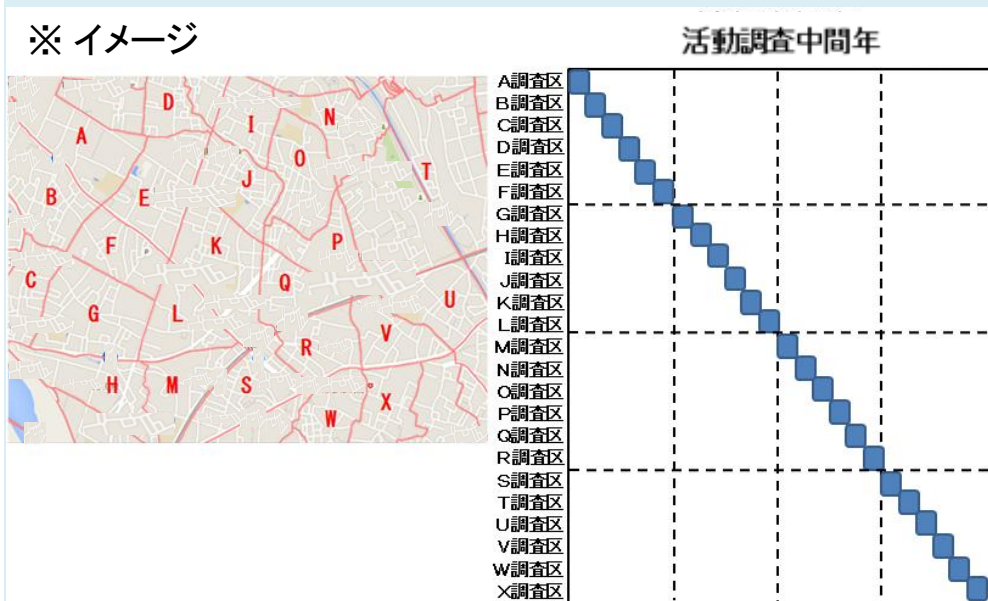


◆ 基本的な考え方

- 経済への影響が特に大きい企業(最重要企業)には、毎年、電話による直接照会を行い、最新情報を迅速に事業所母集団DBに反映
- 経済への影響が大きい企業(重要企業)には、毎年郵送照会を行うとともに、活動調査中間年において、1回以上電話による直接照会を行い、最新情報を事業所母集団DBに反映

ローリング方式による事業所の活動状態の把握

※ イメージ



◆ 基本的な考え方

- 調査区ごとに期日を設け、調査員が事業所の活動状態(廃業、新設等)を確認
- 実施期間を平準化することで地方自治体及び調査員の負担を軽減
- 外観による確認とすることで業務を効率化